

船引

調査活動報告 08.04-08.08
東京大学大学院・北沢研究室

田村ジャーナル No.3

8月4日(月)から8日(金)までの5日間、田村市と東京大学大学院空間計画研究室(北沢猛教授)は船引地区、滝根地区のまちづくり調査を行いました。東京大学からは北沢教授を含めた16名の学生・スタッフが参加しました。今回の田村(船引)訪問では、UDCT田村地域デザインセンターのオープンに始まり、中心部、郊外部、集落部それぞれの調査や、船引のまちづくりに関する地元住民の皆さんとの意見交換会が設けられるなど、充実した5日間となりました。特に今回はヒアリング調査として、中心部、集落部合わせた17世帯の方々に貴重なお時間を割いていただき、生活実態の事から、空き店舗の利用について、まちづくりへの意見など、多岐に渡るなお話伺うことが出来ました。お世話になった方々、ありがとうございました。

次回の田村調査は、9月末を予定しています。皆様のご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

UDCT 開所式

8/4(月) 16:30~

UDCT 田村地域デザインセンターは、まちづくりを研究し実践する地域密着のシンクタンクです。8月4日の開所式では、関係者50名以上が列席し、報道関係者も訪れて、盛大なオープニングとなりました。その後の懇親会では、参加者同士、船引のまちへの思いを共有することが出来ました。

タウントレイル調査

8/5(火)~8/8(金)

船引タウントレイルは、船引の魅力的なところを歩いて巡れるように計画された散歩道です。毎日の健康な生活に、田村観光に、素敵な散歩道を開拓して行きます。まずは、歴史ある中心地を一巡りするルート策定しています。トレイルマップはお近くの公共施設で配布予定です。(今後も、郊外まで足を伸ばせるよう、調査を進めて参ります。)

集落調査

8/6(水)~8/8(金)

田村市中心市街地活性化と言えども、中心部だけではなく周辺集落を踏まえた船引全体でまちづくりの方向性を考える必要があります。今回の調査では、実際に周辺集落にお住まいの3軒のご家庭にお邪魔し、ヒアリングや建物の実測を行い、農業を含めた生活実態の把握に努めました。今後も調査を続け、個々の集落の顕著化を行っていきます。

中心部ヒアリング調査

8/5(水)~8/8(金)

来る10月末、栄町通りにおける一方通行社会実験とともに、商店街に点在する空き店舗を活用した通りの活性化を企画しています。今回の調査では、店舗所有者や地元経済界の関係者の方、文化活動家の方々を中心にヒアリング調査を行い、お互いの協力の可能性を探ることが出来、10月末からの活性化企画の実施に弾みがつきました。

船引意見交換会

8/6(水) 19:00~

地元住民、市役所、学生という各自立場の異なる者同士でペアを組み、船引中心部のあり方について議論を交わし、空間的なアイデアを出し合いました。短時間にも関わらず、活発な議論を経てできたアイデアはどれも示唆に富んでおり、私たちの提案に活かすと同時に、集まった方々のまちづくりへの意識をまた一つ高めることが出来たのではと考えています。



UDCT 正式にオープンしました!



タウントレイルルートは完成間近



UDCT 開所直前まで準備に大忙し



参加者の熱気に包まれた会場



多方面の方々からの貴重なご意見



夜遅くまでの意見交換も、今後は見慣れた風景に一